

「武士、
お次は
?」

森
田
沙
彩

写与久隆
真力兵之
家衛介人
（一）（一）物
1 2
8 0
（一）（一）
隆武
之士
介の
同僚

久 隆 久 隆 久 隆
え 兵 之 兵 之 兵 之
て 衛 介 衛 介 衛 介
は 務 一 問 一 問 一 問
ま 題 を 題 を 題 を 題 を
ら な い を な い を な い
ん い か か か か
— 。 近 づ づ づ
武 て 、 周 う う う
士 が 、 围 う う う
こ 、 生 う う う
ぐ 、 き う う う
ら 、 て う う う
い 、 い う う う
で 、 狼 う う う
狼 、 狼 う う う
— 。 狼 う う う

久 隆 久 隆 久 隆
え 兵 之 兵 之 兵 之
て 衛 介 衛 介 衛 介
は 務 一 問 一 問 一 問
ま 題 を 題 を 題 を 題 を
ら な い を な い を な い
ん い か か か か
— 。 近 づ づ づ
武 て 、 周 う う う
士 が 、 围 う う う
こ 、 生 う う う
ぐ 、 き う う う
ら 、 て う う う
い 、 い う う う
で 、 狼 う う う
狼 、 狼 う う う
— 。 狼 う う う

久 隆 久 隆 久 隆
え 兵 之 兵 之 兵 之
て 衛 介 衛 介 衛 介
は 務 一 問 一 問 一 問
ま 題 を 題 を 題 を 題 を
ら な い を な い を な い
ん い か か か か
— 。 近 づ づ づ
武 て 、 周 う う う
士 が 、 围 う う う
こ 、 生 う う う
ぐ 、 き う う う
ら 、 て う う う
い 、 い う う う
で 、 狼 う う う
狼 、 狼 う う う
— 。 狼 う う う

○ 同 ・ 写 真 家 が 三 脚 に 、 黒 い 箱 に 黒 幕 の 付 い	○ 同 ・ 隆 之 介 先 は 拭 き 三 脚 手 が ら で 入 る よ う 促 す 。 。	○ 同 ・ 玄 関 ・ 外 。	隆 之 介 は 拭 き 三 脚 や バ ッ グ を 下 げ る 。 。	写 真 家 ・ 外 。	表 に 『 隆 之 介 た め 息 を 遺 書 つ き 、 引 き 出 し 。	紙 を 外 包 み に 入 れ る 。 。	紙 に 『 隆 之 介 の 文 字 に 。	る 。 。 ら れ た ら 、 後 を 頼 む 』 、 の 文 字 。	紙 に は 『 も し 私 の 魂 が す べ て 書 か れ て い に 。	筆 を 持 つ た 隆 之 介 の 手 元 。	机 に 向 か う 隆 之 介 の 部 屋 。	○ 同 ・ 隆 之 介 の 屋 敷 ・ 外 観 （ 夜 ）
庭 先 は 拭 き 三 脚 手 が ら で 入 る よ う 促 す 。	隆 之 介 で 拭 き 三 脚 手 が ら 、 入 る よ う 促 す 。	玄 関 ・ 外 。	写 真 家 ・ 外 。	隆 之 介 は 拭 き 三 脚 や バ ッ グ を 下 げ る 。 。	表 に 『 隆 之 介 た め 息 を 遺 書 つ き 、 引 き 出 し 。	紙 を 外 包 み に 入 れ る 。 。	紙 に 『 隆 之 介 の 文 字 に 。	る 。 。 ら れ た ら 、 後 を 頼 む 』 、 の 文 字 。	紙 に は 『 も し 私 の 魂 が す べ て 書 か れ て い に 。	筆 を 持 つ た 隆 之 介 の 手 元 。	机 に 向 か う 隆 之 介 の 部 屋 。	○ 同 ・ 隆 之 介 の 屋 敷 ・ 外 観 （ 夜 ）

○ 隆之介 一久兵衛が紹介するだけあつて腕がい

隆之介の屋敷む、笑顔の隆之介。

たく 介 腕 一 久
遺 す の を 組
書 籠 屋 兵
と の 敷 衛
ブ 中 ・
レ に 隆
た は 之
写 、 介
真 く の 隆
。 し 部 之
。 ゃ や 屋
く や 介
し ゃ に
了 な 腕
。 つ が